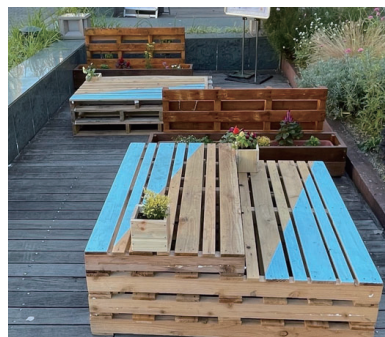


ぼたるんの世界

～ 星が丘テラスに暮らす植物が大好きなコビトたち～

- 星が丘テラスボタニカルプロジェクト -

梶本雅好研究室 企画 小山亜美



1. 背景

昨年度、橋本雅好研究室の祖父江芳乃香さんが取り組んだ「パレットひろば」のお手伝いを行った(2021年11月20日(土)~11月23日(火・祝)までの4日間)。

その中で星が丘テラスは植栽を通し、ポタニカルタウンの構想に力を入れていることを知り、環境に配慮した取り組みに興味を持った。

2. 目的

本企画では廃棄する物をプランターにし、コビトたちの暮らしを表現した作品を取り入れ、ポタニカルタウンに関連したプロジェクトをおこない、制作を通して廃棄物を再利用することを目的とする。

また、プロジェクトの輪が広がり、星が丘テラスだけではなくポタニカルルのイメージが浸透してほしいと考ええる。

3. 提案内容

星が丘テラスを会場とした廃棄する物を再利用した展示、および、先輩から引き継いだパレットひろば、パレットを加工して制作したパレットぷらんたーを企画し、花かんむりのワークショップ、ウインターイルミネーション、東山動物園での落ち葉アートを実施する。

4. スケジュール

本企画は、星が丘テラスを運営している東山遊園株式会社と星が丘テラスの植栽の管理をされているMAY GARDENS 柵山直之さんと定期的なミーティングを重ねた。スケジュールを【図1】に記す。

3月	・パレットひろば5月の展示内容検討 ・星が丘テラスでの打ち合わせ①
4月	・パレット搬入・補強 ・星が丘テラスでの打ち合わせ②
5月	・パレットひろば設営・展示
6月	・ぼたるん展示内容検討 ・イメージ画でのスタディ
7月	・星が丘テラスでの打ち合わせ③ ・ぼたるん展示場所決定
8月	・ぼたるん展示内容決定・素材集め ・星が丘テラスでの打ち合わせ④
9月	・柵山さん打ち合わせ ・パレットぷらんたー制作 ・現調・小物制作
10月	・フライヤー掲示・設営・展示 ・花かんむりのワークショップ
11月	・撤収 ・ウインターイルミネーション ・東山動物園での落ち葉アート
12月	・東山遊園株式会社ヒヤリング ・ウインターイルミネーションの点景補修

【図1】企画スケジュール

本企画を進めていく上でメンバーを募集し、生活環境デザイン学科1・2・3年生計10名が集まった。小物制作、設営、ワークショップのお手伝い、東山動物園での落ち葉アートに関わった。



【写真1】 設営風景、ワークショップ風景、落ち葉アート風景

5. パレットひろば企画内容

本企画を進めるにあたって、先輩からパレットひろばを引き継ぎ5月3日(火)~5月5日(木)まで展示を行った。展示に向け広告としてフライヤーを制作した。また、同じポスターを展示の隣に配置し、イベントを宣伝した。



【写真2】 ポスターデザイン

3、4日は星が丘駐車場前に設置し、5日は駐車場前とベンチ付近の場所、二か所に設置し調査した。パレットひろばの利用者にアンケート調査を行った。アンケートの回答:3日13人、4日9人、5日11人計33人の回答があった。

アンケート結果で、友人との談笑・飲食が出来るスペースが欲しいという意見が合わせて30票あった。駐車場前はお昼になると日陰になり、涼しく過ごしやすかったのでキッチンカーでテイクアウトしたものを食べたり、仮眠、子供を遊ばせたりという行動がみられた。

6. コンセプトの選定

『ぼたるんの世界~星が丘テラスに暮らす植物が大好きなコビトたち~』
この展示では、廃棄する物を使ってプランターに再利用し、ぼたるん(コビトたち)の世界観を表現した。ぼたるんは「ポタニカル」を参考にし、愛着が湧くようにコビトの名前を付けた。植物がたくさん増えてきた星が丘テラスに、植物が大好きなぼたるんたちが暮らし始め、ぼたるんたちの暮らしを覗いてみると捨った廃材に、お気に入りのお花や落ち葉を挿したりして、楽しんでいる設定とした。展示物が毎日のように変わる植物が大好きなぼたるんたちの暮らしを覗いてみてほしいと企画した。

7. 制作

制作物として、再利用できなくなった経年変化した物を集めた。樽、木箱、工具入れ、一斗缶などの既存の物に花を植え、ミニチュアガーデンを展開する。



【写真3】 廃棄する物類

8. モックアップ

廃棄物の再利用を重視したため、購入した植栽を植えず自宅の植栽を植え替えたり、学校や公園に落ちていた小枝や落ち葉を使い制作した。また、制作期間中は星が丘駐車場1階部分を制作場所として展示準備を進めた。



【写真4】 小物制作・落ち葉集めモックアップ

9. ポスターについて

『ぼたるんの世界~星が丘テラスに暮らす植物が大好きなコビトたち~』を宣伝するためのポスターを作成した。ぼたるんが捨った廃材に、お気に入りのお花や落ち葉を挿したりして、楽しんでいる様子や一目でわかりやすいよう、日付や場所など必要最低限の情報を入れ込んだ。



【写真5】 ポスターデザイン

10. 展示

期間: 2022年10月15日(土)~10月31日(月)
場所: 星が丘テラス EAST 1階北側 階段付近



【写真6】 展示場所

11. インタビュー

展示期間中に作品を見て頂いた方に、作品に対するインタビューをおこなった。

・廃棄されるものが再利用していいね
・いるんなどところに小物があるね 缶のフックみたいなのがあったり、本当は捨てる様な物とかを使って世界観を表現して見ていてかわいいなど感想をいただいた。



【写真7】 展示風景・インタビューの様子

12. パレットひろば&パレットぷらんたー

先輩から引き継いだ木製のパレットを並べたり重ねたりした居場所のパレットひろば、廃棄するパレットを加工して制作したパレットぷらんたーを展示した。

期間: 10月25日(火)~10月31日(月)

場所: 星が丘テラス WEST 1階 マザーハウス前デッキ



【写真8】 ポスターデザイン・展示場所・設営風景

13. ポタニカルプロジェクト

他にも花かんむりのワークショップ、ウインターイルミネーション、東山動物園での落ち葉アートにも関わった。



【写真9】 ポタニカルプロジェクト活動写真

14. おわりに

先輩から引き継いだ木製のパレットを並べたり重ね本企画では、星が丘テラスを会場とし廃棄する物をプランターにし、コビトたちの暮らしを表現した作品を取り入れ、ポタニカルタウンに関連したプロジェクトをおこない、制作を通して廃棄物を再利用することができた。また、来場者の方に星が丘テラスがポタニカルタウン構想に力を入れており、社会課題の発信を知るきっかけとなったと感じている。東山遊園株式会社の皆さま、MAY GARDENS 柵山直之さんの協力があって、展示・運営できることを実感した。関係者の皆様へ心より感謝申し上げます。今回の展示をもとに、今後も星が丘テラスだけではなくポタニカルルのイメージが浸透してほしい。